

深川東京 モダン館だより

モダン館だより 100号記念号

連載 東京市深川食堂が出来た年 - その① -

深川東京モダン館は、国登録有形文化財「旧東京市深川食堂」を活用した文化・観光施設です。この建物自体は昭和7年(1932)に竣工したもので、今年で89年を経過しました。そこで、今回から3回に分けて、この建物が竣工した昭和7年の江東区域に関することから紹介していきます。

東京市深川食堂が開業したのは、この年の4月1日ですが、この日は内務省復興事務局が廃止された日でもありました。この事務局は、大正12年(1923)9月1日に起きた関東大震災からの復興のために立ち上げられた帝都復興院、内務省復興局の後身にあたります。2年前の昭和5年3月24日、帝都復興祭が開催されたことで大震災からの復興期は一区切りを迎えました。そして、事後処理を行っていたこの事務局が廃止となることで、復興事業が完全に終了したことを示しています。(次ページへ続く)



旧東京市深川食堂
(『建築の東京』都市美協会、昭和10年)

7月のカレンダー



月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5 休館日	6	7	8	9	10	11
12 休館日	13	14	15	16	17	18
19 休館日	20	21	22	23	24	25
26 休館日	27	28	29	30	31	

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

●お客様へのお願い

- 次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

(前ページから) 震災復興事業によって、東京市内は多くの橋や道路が整備され、また新しく公園施設も配置されました。江東区内では、昭和6年までに元加賀・八名川・森下・臨海・東陽・扇橋・川南の7公園が新たに設置され、埋立地の浜園町にも浜園公園(現在の区立浜園公園とは別)が開園しています。そしてこの年の4月29日に猿江恩賜公園の落成式が挙行されています。

猿江恩賜公園は、大正13年1月26日に時の皇太子裕仁親王(昭和天皇)のご成婚を記念して、宮内省から東京市に下賜された南葛飾第一御料地の一部を公園にしたものです。ちなみにこの時には上野公園や旧芝離宮も市に下賜されています。体力増進などの観点から、公園内には運動施設も設けられ、野球場や相撲場などが作られています。落成式は木場の角乗りが披露されるなど盛大なものでした。ちなみにこの時の公園は現在の新大橋

通りの南側部分で、北側部分が整備されて付け加えられたのは昭和58年(1983)のことです。

また、関東大震災後に岩崎家から寄付された深川別邸敷地は、昭和3年に庭園部分を整備した上で開放されました。その後、新宿御苑内の大正天皇の葬場殿の移設や深川図書館の建築、庭園周辺の公園や児童遊園などの整備などを行い、全面開園となったのはこの年の7月24日でした。葬場殿は大正記念館と名付けられましたが、昭和20年の空襲で焼失し、同28年に貞明皇后の葬場殿の材料で再建、現在の建物は平成元年(1989)に全面改築されたものです。もし、江東区の「公園史」を編むとすれば、昭和7年は特筆すべき年の一つであり、現在も木場公園や大島・小松川公園、豊洲ぐるりパークなどの新しい公園とともに区民のオアシスとなっています。(深川東京モダン館 龍澤潤)



猿江公園(『建築の東京』都市美協会、昭和10年)



猿江恩賜公園由来碑

昭和7年(1932)の主なできごとと江東区域(1~4月)

月	日	できごと
1	28	上海事変勃発
2	9	前大蔵大臣井上準之助が血盟団団員に暗殺される
2	20	衆議院議員選挙、少数与党であった立憲政友会が大勝利を収める →東京第4区(本所・深川区)は磯部尚・国枝捨次郎・朴春琴・中野勇次郎が当選
2	22	衆議院議員選挙で落選した候補者の支援者などが不正選挙を訴えて深川区役所を包囲
3	5	三井合名会社理事長団琢磨が血盟団団員に暗殺される
4	1	東京市深川・田町の両食堂が開業 内務省復興事務局が廃止(震災復興事業の終焉)
4	15	深川区長榛葉金吾が病気のため退任、後任に小石川区長守屋正二が就任
4	29	猿江恩賜公園開園祝賀会を開催

※吉原健一郎・大濱徹也編『増補版江戸東京年表』(小学館2002)、『櫻東新聞』、朝日・読売・毎日の各新聞縮刷版から作成した。

渋沢栄一は深川の町名も変えた！？



「そんなこたあ～疾うに分かってる！」とのお叱りを承知の上で、渋沢超ブームのこの時期に、当該町に身をおく者として、チョイと御託を並べさせていただきます。

白河一丁目町会五十周年記念誌「しらかわ」(平成11年11月発行)の「白河の町名の由来と変遷」には、「白河楽翁にちなむ。寛政改革で名高い白河藩主・松平定信の墓所が、この地の霊巖寺にあるゆかりだが、町名となったのは没後、百年余のことである。昭和7年、深川東大工町・霊岸町※・元加賀町・扇橋町の各一部を合わせ深川白河町が誕生した。関東大震災の区画整理に伴うものだった。旧町名を残したい住民もいて、議論があったが、松平定信の顕彰事業の記憶も新しく、白河楽翁が油揚げをさらった。・・・」とあります。

皆様ご承知のように、この顕彰事業は昭和4年6月、定信百年忌を期して開催された渋沢が会長の「楽翁公遺徳顕彰会」による一大イベント「楽翁公百年祭」。同会創立の趣意書には、「東京市の恩人の最たるは、明治天皇・道灌・家康。次いで定信、市民は決して忘れてならない一大恩人・・・崇敬してやまない定信の顕彰」の旨記載。渋沢にとっては最晩年の大事業、昭和天皇から祭料(三百円)の御下賜もあり大盛況裏に執行され、見事に大願成就。地元においても、定信とその墓所の存在が相当のインパクトをもって見直されたことは想像に難くありません。

ところが、その翌5年8月10日付・報知新聞に、「深川区霊巖町は区画整理の結果、大工町と改称されることになり、目下市会委員会で審議中であるが、渋沢子爵を会長とする顕彰会では霊巖という町名は江戸時代から由緒深いものであり、かつ霊

巖寺には東京市の恩人である公を葬ってあるのだから、是非存続するよう希望し同会の福島理事は9日助役を訪問陳情」とあります。その後の経緯は不詳ですが、2年後の7年8月1日、「深川白河町」が誕生しました。渋沢はその前年の6年11月に他界しましたが、当件に関する渋沢の“最期の働き”は容易に想定できます。

ところで、前述の「しらかわ」の町名由来の記述は、「東京地名考」(朝日新聞社会部昭和61年1月20日発行)の全面コピーであることが判明しました。“天下の朝日”によって定信は鳶に仕立てられた訳ですが、「楽翁公伝」編纂未完のまま他界した渋沢は谷中霊園でこれをどう思っているのか、興味津々たるものがあります。(同伝は昭和12年、「未定稿」として刊行)

渋沢は千を超える企業・社会事業に関わり、今でも存続・発展している事業体が多数ありますが、その名称・事業内容等が変わっているものも少なくありません。しかし、渋沢が永久施設として整備した定信の墓所とそれに因む「白河」の町名は、これからも変わらず残り続けることでしょう。



(文と写真 江東区文化観光ガイド 泉山 紀明)

※区画整理の東京市地図では「霊巖町」

江東区文化観光ガイドによる**モダン館周辺のまちあるきツアー**(1時間程度、11:00・14:00出発)は**現在中止しております**。再開についてはWEBサイトでお知らせいたします。

www.fukagawatokyo.com

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種（ぬいぐるみ、缶バッジ、マフラータオル ほか）
- ・江東区の名所を描いた絵はがき（水彩・切絵・写真）
- ・ビニール製マスク入れ
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・コースター
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ等

コトミちゃんグッズ



タオルハンカチ600円



ステンレスボトル700円

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）、また夏季限定の「ひやし」5 種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00（金・土曜日は19:00まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



Fritillaria camtschatscensis

「深川東京モダン館だより」第100号(2021年6月25日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

